

各議員の氏名の左にあるQRコードをスマートフォン等の専用アプリで読み取ると、一般質問の録画映像をご覧いただけます。



Q 越谷サンシティ整備における方針転換について



越谷刷新クラブ **野口 高明** 議員

問 アリーナ賛成派の方々が、熱心に署名活動をしていた。しかし署名活動が終了する直前に、方針転換を市長は発表した。不誠実な行為であると思うが、考えは。

市長 私たちは私たち行政としてのスケジュールに基づいてやっているということ。我々が計画しているタイミングに合わせて発表した。市民の皆様には不誠実だとか、そういうことを考えたわけではなく、我々のタイミングでやらせていただいた。

Q 越谷サンシティ整備事業にかかる今後の方向性について



自由民主党越谷市議団 **立澤 貴明** 議員

問 103億円かかる想定でやっていたものがこの数カ月で320億円にひっくり返るのか。

市長 不誠実であるということであればおわびを申し上げたい。

問 事前に地元の方や関係団体の方や我々議員に対して説明があってもよかったですではないか。

市長 我々の手抜き、かしてあったのかもしれない。



越谷サンシティ

Q アプリ「輪トレ(りんトレ)」で楽しく学ぶことについて



公明党越谷市議団 **藤部 徳治** 議員

問 「輪トレ(りんトレ)」は自転車事故の事例やルール・マナーの学習に加え発進や停止、障害物を避けるなどの自転車走行の体験学習アプリである。交通安全運動の輪を広げるための啓発活動として、導入の考えは。

市長 自転車の安全教育については、交通指導員による交通安全教室を小学校や保育所で実施しているが、その一部に本アプリが活用できないか検討していく。

Q 治水対策について



こしがや無所属の会 **斎藤 豪人** 議員

問 今後とも、前例のない大雨に備え、命を守ることや浸水災害に対応するための考えは。

市長 今後、気候変動に伴い、激甚化する水災害に対応するためには、河川整備や排水ポンプの増強増設などのハード対策だけでなく、市民の水災害に関する普及啓発や情報提供など、防衛意識の向上を図るソフト対策を進めることが重要だと認識している。



台風2号による大雨での冠水被害(市内弥十郎)

Q 学習指導員の配置について



越谷市民ネットワーク **大田 ちひろ** 議員

問 コロナ禍の児童生徒の学びの保障のため、この3年間で延べ300名の学習指導員が配置されていたが、今年度は配置されていない。今こそ担任をしっかりサポートし、児童生徒を支援する人材の配置が必要だと考えるが教育長の考えは。

教育長 特別支援教育支援員、学校司書、日本語指導員、スクール・サポート・スタッフ等の配置を積極的に進め、より一層の人材活用の充実に努める。

Q 越谷市学校防災の日について



こしがや無所属の会 **菊地 貴光** 議員

問 今年は関東大震災から100年の年だが、これまでの取り組みの改善点は。

教育長 令和3年度より避難所開設準備訓練を実施、令和4年度より新入生およびその保護者が災害時の対応について早い時期に理解できるよう5月実施に変更している。

問 災害時は中学生が頼りだと考えるが。
教育長 避難所開設および運営に関する訓練等を通じて、中学生の共助の力を育成していきたい。

Q 水害対策につながる稲作農家への支援について



日本共産党越谷市議団 **大和田 哲** 議員

問 増林に4反の水田を所有する方は稲作を知人に委託しているが、水田を維持するだけで毎年赤字であると話している。水田を手放すことのないよう、水害対策にもつながる稲作農家への支援についての考えは。

市長 本市では担い手に農地を集積、集約化する農地利用集積事業に取り組んでいる。提案のあったソーラーシェアリングについては、先進事例などを含め、農業従事者に情報提供していく。

Q おくやみコーナーの充実について



越谷市民ネットワーク **清水 泉** 議員

問 遺族の手続きを一つの窓口でまとめるようにする考えは。

市長 おくやみコーナーでは、必要な手続きや窓口がわからない方に対し、その案内を行っている。ワンストップ化については遺族の負担軽減を図るために有効な取り組みと認識しているが、予約制を含めた受付方法や窓口体制などを再検討する必要がある。今後これらの課題を整理しつつ調査研究していく。

Q 防犯カメラ設置について



越谷刷新クラブ **松島 孝夫** 議員

問 越谷市の高い犯罪率を抑制するため、市内全域に防犯カメラを設置する考えは。

市長 市内全域に一定数の増設が有効であり、設置台数や設置場所の検討を進める。

問 現在50台の防犯カメラが市街化調整区域内の通学路に設置されているだけで、市街化区域内の通学路には1台も設置されていない。防犯カメラを設置する考えは。

教育長 市長部局等と連携を図り、防犯カメラの設置台数や範囲について検討する。

Q 投票しやすい環境づくりについて



公明党越谷市議団 **和泉田 宏幸** 議員

問 意思疎通に障がいのある方だけでなく今後、高齢化社会が加速する中で、高齢者の投票もサポートが可能となる「投票支援カードの導入」および投票所入場整理券への「音声コード利用」についての考えは。
選挙管理委員会事務局長 投票環境や利便性の向上を図るうえで、「投票支援カードの導入」、「音声コード利用」は、大変有益な取り組みであることから、先進自治体の事例を調査、研究していく。